

令和7年度事業報告

社会福祉法人 金沢市社会福祉協議会

令和7年度社会福祉法人金沢市社会福祉協議会 事業報告

I 総括

少子高齢化や人口減少の進行、生活様式の多様化などの社会環境の変化によって地域コミュニティのつながりが弱まり、生活困窮も含めた複合的な課題を抱える世帯の増加、8050問題、地域社会での居場所の喪失、福祉の担い手不足等様々な生活課題が浮き彫りとなる中、本会は地域のつながりを絶やさない取り組みや生活困窮者支援、包括的支援体制の整備、地域における総合的な権利擁護支援体制の構築、福祉人材の定着・促進などに取り組んできました。

また、令和6年能登半島地震、能登豪雨から2年余りが経過したが、災害の爪痕は大きく、被災された方々の生活の復興・再建には時間を要することから、行政、ボランティア、関係機関・団体等との連携のもと、引き続き金沢市に避難している被災者への個別訪問や被災者同士の交流の場の運営などの生活支援を行ってきた。

昨年8月には、金沢においても大雨による被害を受けたことから、多発する自然災害への備え、災害時の福祉支援活動体制整備に取り組んできました。

こうした中、令和5年度に策定した「金沢市社協中期経営計画」で挙げた「5年後に目指す本会の姿」を実現するため、経営課題の解決に取り組んできました。

II 重点目標の達成状況

- 1 地域住民の支え合いによる福祉活動の推進及び地域住民の複合的な生活課題の解決を図ることができる体制の充実を図った。
- 2 生活に困窮する人や判断能力の低下した人、障がいのある人、虐待や引きこもりに直面する人など、社会的に孤立している人々の自立に向けた相談支援体制を充実及び地域における総合的な権利擁護支援体制の構築に取り組んだ。
- 3 地域住民及び福祉関係者等の多様な関係者との協働・連携による事業（地域福祉推進に関する調査研究、関係者の連絡調整、福祉人材の養成・確保・定着、福祉サービスの質の向上に向けた取組等）に取り組んだ。
- 4 住民の地域福祉活動へのさらなる参加を促進した。
- 5 多発する自然災害に備え、被災された人びとに寄り添い、支援していくため、平時からの災害福祉支援体制の整備に取り組んだ。
- 6 中期経営計画に基づく取組を推進した。

Ⅲ 事業内容

1 地域住民の支え合いによる福祉活動の推進及び地域住民の複合的な生活課題の解決を図ることができる体制の充実

(1) 地区社会福祉協議会（地区社協）活動の支援〔地区社協会長部会と連携して実施〕

①情報交換・課題協議

- ア 地区社協会長部会役員会（8回…5月、6月、8月、9月、11月、12月、1月、3月）
- イ 地区社協会長会議（4回…4月、7月、10月、2月）
- ウ ブロック別地区社協・民児協会議（8回※各ブロック1回開催）
- エ 地区社協事務担当者会議（2回…5月、3月）

②研修

- ア 地区社協会長研修会（1回…2月）
テーマ「地区社会福祉協議会の労務管理とハラスメントについて」
- イ 地区社協職員研修会（1回…3月）
テーマ「地区社会福祉協議会の労務管理とハラスメントについて」

③活動支援

- ア 市社協ブロック担当職員による相談対応・情報提供・年9回巡回訪問・個別訪問
- イ 地区社協実施事業（地域福祉支援コーディネーター配置、地域の身近な福祉相談窓口設置、地域福祉座談会、地域サロン、子育てサロン等）実施に係る支援
- ウ 地区社協・民児協の管理運営の手引き及び地区社協・民児協会計管理ガイドラインによる助言、地区社協会計システムの運用支援および改訂版の作成
- エ 地区社協会長の役割（地区社協の運営および主催事業への関わり等）について調査
- オ 地区社協活動の市民へのPR（ホームページ等）

(2) 民生委員児童委員活動の支援〔市民生委員児童委員協議会（市民児協）と連携して実施〕

①情報交換・課題協議

- ア 市民児協役員会（12回…毎月）
- イ 市民児協正副会長会議（随時）
- ウ 市民児協総会（4回…5月、9月、12月、3月）
- エ 地区民児協会長定例会（11回…8月を除く毎月）
- オ 主任児童委員連絡会理事会（4回…4月、8月、11月、1月）
- カ 主任児童委員連絡会全体会議（2回…7月、1月）
- キ ブロック別地区社協・民児協会議（8回※各ブロック1回開催）

②研修

- ア 地区民児協会長研修会（1回…2月）

- テーマ：「ハラスメントの基本について」参加者53名
- イ 地区民児協会長対象視察研修（1回…7月）
 テーマ：「能登半島地震発生当時の様子と被災地の現状について」参加者26名
- ウ 民生委員児童委員実務研修会
 階層別「1～3期目対象研修」（3回）参加者418人
 「4期目以上対象研修」（1回）参加者116人
 「副会長対象研修」（1回）参加者90人
 新 「新任候補者対象研修」（2回）参加者188名
 「新任対象研修」（3回）参加者331名
 「テーマ別研修」（2回）参加者137人
- エ 子どもの見守り研修（2回…11月）
 テーマ：「児童虐待防止～地域で子どもを見守ろう～」参加者71人
- オ 主任児童委員研修会（2回…7月、1月）
 テーマ：第1回「被災で見た園の存在意義と役割
 ～すべては子どもと地域社会のために～」
 参加者79人
 第2回「主任児童委員のやりがい～これまでの活動を振り返って～」
 参加者80人
- カ ブロック別研修会（1、2、3、4、5、6、7ブロック各1回） **512人**参加
 テーマ：1ブロック「防火安心講座～住宅火災に備えた消防の教え～」
 2ブロック「防火安心講座～住宅火災に備えた消防の教え～」
 3ブロック「大人の発達障害への理解と誤解
 ～「地域で暮らす」をどう支えていくか～」
 4ブロック「被災地の市・町社会福祉協議会の支援
 「地区民児協会長視察研修会に参加して」
 5ブロック「防火安心講座～住宅火災に備えた消防の教え～」
 6ブロック「地域包括支援センターと民生委員の連携について」
 7ブロック「新旧委員の引継ぎについて」
- キ 他都市民児協との交流研修（1回…7月）
- ク 関係機関が実施する人権・同和問題に関する研修会への参加（石川県、石川県社協、石川県民児協連合会が主催する人権・同和問題研修会、人権問題講演会等2回参加）

③活動支援

- ア 市社協ブロック担当職員による相談対応・情報提供等
- イ 民生委員児童委員活動保険への加入（事故報告5件受付）
- ウ 全国民生委員児童委員互助事業（343件、2,157,000円給付）
- エ 金沢市民児協慶弔規則（56件、600,000円給付）
- オ 民生委員児童委員活動PR活動（市内小学校1年生へ市民児協作成クリアファイルを配布し、マスコミを通じた広報活動の実施）
- カ 地区民児協活動状況に関する実態調査の実施

(3) 生活支援・介護予防の基盤整備に向けた取り組みの推進（生活支援体制整備事業）

生活支援コーディネーターを配置し取り組みを推進

〔第1層（市全域）1名、第2層（ブロック担当）4名〕

①地域のニーズと資源の見える化・問題提起

ア 「お宝探しワークショップ」（身近な支え合い活動の発掘）の開催

42地区 1回開催

イ SNS等によるつどいの場の情報発信

Instagram 5回

②目指す地域の姿・方針の共有・意識の統一（第2層協議体の取り組み）

ブロック別地区社協民児協会議の開催…8ブロックで各1回開催

③地縁組織等多様な主体への協力依頼等の働きかけ（第3層協議体の取り組み）

各地区地域福祉座談会等の開催…39地区等で125回開催

④関係者のネットワーク化

ア 生活支援体制整備事業連絡会の開催（1回）

金沢市、地域包括支援センター連絡会役員、市社協生活支援コーディネーターによる活動報告・今後の連携についての会議

イ 地域包括支援センターとの連携

・運営懇談会への参画…20センター40回

・包括業務・地域診断実務担当者部会への出席…2回

・地域ケア会議等への出席…13センター61回

⑤生活支援の担い手の養成・サービスの開発

ア 生活支援フォーラム…33人参加

(4) 高齢者が生涯現役で活躍できる社会の実現に向けた取り組みの推進

アクティブシニア応援セミナーの開催(4回)…53人参加

(5) 地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制構築に向けた取り組みの推進

①支え合いソーシャルワーカーを配置し、複合的な課題を抱えた世帯等に対する支援を実施

ア 新規相談受付 46件、前年度からの継続ケース 38件

イ 相談支援件数 720件

（電話相談・連絡 332件、訪問 102件、同行支援 31件、面談 58件、

所内会議 28件、支援会議 15件、重層的支援会議（プラン策定）2件、

重層的支援会議（評価実施）7件、その他他機関との会議 32件、

他機関との電話照会・協議 142件 その他 72件）

- ウ 支援プラン作成件数 2件
- エ 重層的支援会議の開催 6回
(新規プラン決定 1件、プラン評価 8件、再プラン決定 1件、プラン未作成の中断・終了 1件)
- オ 支援会議への出席 15回
- カ 支援会議へのアドバイザーの派遣 3回 (社会福祉士1回、弁護士2回)
- キ 重層的支援体制推進会議への出席 1回
- ク 参加支援事業の実施
- ケ アウトリーチ等継続的支援の実施 (訪問、同行、公式LINE 等による相談支援)
新規相談受付件数 46件 (再掲)
アウトリーチ支援件数 訪問102件、同行支援31件、その他72件 (再掲)
公式LINE による相談窓口の開設

②地域の身近な福祉相談窓口のバックアップ

- ア 54地区 895件の相談を把握し必要に応じて助言した。

③他の相談支援機関等との連携

- ア 会議出席 32件 (再掲)

④担当職員の資質向上 (研修会の参加)

- ア 地域福祉コーディネーターリーダー研修会 参加人数1人
- イ 包括的支援体制推進会議 (オンライン) 参加人数5人
- ウ 能登半島地震第1回中間報告会 参加人数1人
- エ 金沢市ひきこもり広域ネットワーク連絡会 参加人数1人
- オ 能登と石川県の地域共生社会の未来を考える特別研修会 参加人数4人
- カ 伴走型支援特別講演会 参加人数5人
- キ 精神障害者地域生活支援事業連絡会 参加人数2人
- ク 千葉県地域福祉フォーラムシンポジウム 参加人数6人
- ケ 能登半島地震第2回中間報告会 参加人数1人
- コ 権利擁護セミナー 参加人数4人
- サ 障害者雇用勉強会 参加人数1人

⑤事業の周知

- ア 支え合いソーシャルワーカーについて周知するチラシ・リーフレットの配布

(6) 地域の見守り・相談・支援体制の充実

①地域の身近な福祉相談窓口の設置

- ア 市内全54地区社協に、地域住民が気軽に相談ができる環境を整備
- イ 相談受付件数895件 (解決459件、地域で継続対応205件、関係機関へのつなぎ

- 201件、金沢市社会福祉協議会へのつなぎ2件、連絡途絶等5件、その他23件)
- ウ 新規相談員に対する、相談員養成研修の開催（地区毎に個別に実施）
- エ 相談員フォローアップ研修の開催（29名参加）
テーマ「相談員のためのストレスケア」
- オ 相談窓口の周知等
金沢市・金沢市社協のホームページおよび各地区社協広報誌による周知

②地域安心生活支え合い事業

- ア 市内54地区において、地域住民主体の見守り・相談・支援体制を構築
 - ・コミュニティカフェ
 - ・買い物支援・移動支援
 - ・無償・有償ボランティア組織
 - ・見守り活動

③地域福祉支援コーディネーターの配置

- ア 市内54地区において、地区社協の機能強化を図り、地域の福祉ニーズを踏まえた地域サービスを創出・推進
- イ 地域福祉支援コーディネーターフォローアップ研修の開催…50人参加

④まちぐるみ福祉活動推進事業

- ア まちぐるみ福祉活動推進員の委嘱…377人
- イ 「まちぐるみ福祉活動ガイドブック」の作成・配布（4,000部）
- ウ 「すこやか長寿」（パンフレット）の作成・配布（10,000部）
- エ まちぐるみ福祉活動推進員のボランティア活動保険への加入
- オ 各地区で実施するまちぐるみ福祉活動推進員研修会への講師派遣等…延べ8地区
- カ まちぐるみ福祉活動推進員・民生委員児童委員が対応する困難ケースへの助言、ケース検討会実施の支援等
- キ 退任感謝状の贈呈（366人）

⑤地域サロン

- ア 地域サロンの設置…市内全地区、274拠点で設置
（4,730回開催、延べ67,840人が参加）
- イ いきがい・助け合いオンラインフェスタ2025の参加（10月）
- ウ 地域サロン運営担当者訪問研修（10月～11月）3人
- エ 地域サロン運営担当者研修（3月）84人
- オ 地域サロン運営支援（巡回訪問、広報、情報提供、課題に対する助言）

⑥子育てサロン

- ア 子育てサロンの設置…33地区で設置

⑦児童クラブ

ア 児童クラブ（地区社協実施）の運営支援（52ヶ所）

⑧虐待防止、認知症等に関する市民への啓発・研修

ア 金沢市や児童相談所、地域包括支援センター等の関係機関と協力した虐待防止に向けた取り組みの実施

イ 高齢者・障害者虐待防止対応専門職チームへの参画

⑨地域包括支援センターとの連携強化

ア 運営懇談会、地域ケア会議、ケース検討会への参加

⑩スクールソーシャルワーカー活動への協力

ア スクールソーシャルワーカー（1人）、石川県教育委員会への協力

改 ⑪金沢版子ども宅食推進事業

ア 支援が届きにくい家庭へのアプローチ施策として「金沢版子ども宅食推進事業」を地区社会福祉協議会や地区民生児童委員協議会等と協力して年8回実施（5月・4ブロック：80世帯参加、6月・長田中エリア：36世帯参加、7月・8ブロック：80世帯参加、8月・3ブロック：54世帯参加、9月・2ブロック：26世帯参加、11月・大徳地区：40世帯参加、11月・7ブロック：98世帯参加、2月・1ブロック：70世帯参加）

（7）共同募金運動の支援

①情報交換・課題協議

ア 金沢市共同募委員会役員会（8月）

イ 地区共同募委員会事務担当者会議（9月）

②広報啓発・活動支援

ア 市社協情報で募金運動を広報

イ 街頭募金（10月～12月、10回）

③募金実績（金沢市共同募金会取り扱い分）

ア 53,509,851円

（一般募金32,456,131円、歳末募金21,053,720円）

（8）自主財源確保のための取組みの推進（市・地区共同募金会と連携して実施）

①地区共同募委員会会長・事務担当者研修会（3月）

テーマ 地域福祉活動に取り入れる「共同募金×生成AI Gemini 活用入門」

2 生活に困窮する人や判断能力の低下した人、障がいのある人、虐待や引きこもりに直面する人など、社会的に孤立している人々の自立に向けた相談支援体制を充実及び地域における総合的な権利擁護支援体制の構築

(1) 金沢権利擁護センターの運営

①高齢者等の権利擁護に関する相談・支援：10,909件

ア 成年後見制度の利用に関する相談・支援：257件

イ 日常生活自立支援事業：実利用者数172名、新規契約60件、解約24件

②権利擁護に関する人材育成

ア 権利擁護セミナーの開催（2回）

イ 講師派遣（5回）

③研究協議

ア 運営委員会の開催（2回）

イ 法人成年後見等の試行的な実施（後見受任1件）

④広報

ア 「まちぐるみ福祉活動ガイドブック」、「すこやか長寿」、「障害がある方の便利帳」、「金沢権利擁護センターパンフレット」「金沢市社協情報」等で広報

⑤関係機関との連携

ア 専門職団体との連携強化

成年後見制度連絡協議会への参画

イ 金沢市地域包括支援センター、金沢市障害者基幹相談支援センター等との連携強化
・サービス担当者会議、個別支援会議、地域ケア会議への出席（76回）

⑥職員の資質向上（研修会等への出席）

ア 成年後見制度利用促進体制整備研修、任意後見制度などに関する研修に職員が参加
（11回、延べ22人）

(2) 成年後見制度の利用促進に向けた中核機関の運営

①パンフレットの配布

②成年後見制度の利用に関する相談・支援：257件（※再掲）

③金沢市成年後見制度利用促進協議会事務局機能

ア 受任者調整部会の開催（12回・調整110件）

イ 権利擁護支援会議の開催（76回）

- ウ アドバイザー派遣（1回・1件）
- エ 成年後見制度利用促進協議会の開催（1回）

（3）金沢自立生活サポートセンターの運営（生活困窮者自立相談支援事業）

①自立相談支援事業の実施

- ア 生活困窮者の包括的な相談・支援及び支援計画（プラン）の作成・サービスの提供
新規受付相談：1, 174件、支援プラン作成：77件
新規就労者・増収者数：32件
- イ 支援調整会議の開催（24回）
- ウ 関係機関会議の参加（29回）
- エ アウトリーチ（自宅訪問、同行支援）：515件

②住居確保給付金（初回申請）の相談対応・申請受付

- 申請受理：23件、支給決定：23件

③家計改善支援事業の実施

- ア 家計面に課題のある世帯に対する相談・支援の実施
相談・支援：164件、家計プラン作成：15件

④子どもの学習総合支援事業の実施

- ア 学習支援教室の開催（毎週金曜日、隔週土曜日 他）・・・中高生（生活困窮者世帯、生活保護受給者世帯）の学習支援と居場所づくり・高校進学後の学習支援と居場所づくり
参加登録者：43人、教室78回開催、延べ参加者：507人
- イ 学習支援ボランティア（大学生）による教室運営
ボランティア登録者：70人
- ウ ボランティア説明会の開催（14回、参加者：50人）
- エ 企画・運営ミーティングの開催（2回）
- オ ボランティア講習会の開催（2回）
- カ 学習支援便りの発行（12回）
- キ 交流イベントの開催・調理実習、レクリエーション等（3回、延べ63人参加）

⑤生活困窮者自立支援連絡協議会の開催

- ア 生活困窮者支援団体・関係機関等との連携・情報交換（2回）

⑥関係機関の会議等への出席

- ア 金沢市重層の支援体制推進会議、金沢地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会、福祉なんでも相談窓口アドバイザー会議、金沢子ども応援ネットワーク情報交換会、居住支援法人情報交換会、司法及び福祉関係機関等実務者担当者連絡協議会、石川中央圏域ひきこもり地域ネットワーク会議

⑦研修会等への講師派遣

- ア 金沢市生活支援課（1回）、金沢市子育て支援課（1回）、金沢大学地域創造学類等（1回）、母子生活支援施設MCハイツ平和（1回）、地域包括支援センターもろえ（1回）、地域包括支援センターながさか（1回）、地域包括支援センターひろおか（1回）、地域包括支援センターとびうめ管内居宅介護支援事業所（1回）、あおいとりケアサービス（1回）

⑧広報

- ア パンフレット、金沢市社協情報、「まちぐるみ福祉活動ガイドブック」等で広報

⑨職員の資質向上（研修会等への出席）

- ア 生活困窮者自立支援制度従事者養成研修等に職員が参加（25回、延べ43人）

（4）生活福祉資金貸付事業等、生活つなぎ資金貸付事務

①生活福祉資金・臨時特例つなぎ資金（住居を喪失した失業者世帯の自立支援）の申請受付

申請受付件数：231件（うち震災特例貸付件数：176件）

②令和6年能登半島地震の被災者を対象とした生活福祉資金特例貸付（緊急小口資金および福祉費〔住宅補修費・災害援護費〕）

ア 相談受付件数：177件

イ 震災特例貸付申請受付件数：176件（市内：161件、市外：13件）

※内訳（緊急小口資金：174件、福祉費〔住宅補修費・災害援護費〕：2件）

③新型コロナウイルス感染症により収入が減少した世帯への生活福祉資金特例貸付の償還猶予終了者に対する対応・償還免除及び再猶予申請に対する意見書作成

ア 意見書作成件数：29件

④生活つなぎ資金貸付事務

ア 貸付件数：350件

（5）フードバンクネットワーク組織の基盤づくり

①フードバンクネットワーク団体への参画

ア 会議の参加回数（総会：1回、理事会：4回、運営委員会：7回）

イ 研修会、セミナー等の参加回数（1回）

ウ 食糧を提供した世帯数（194件）

(6) 金沢障害者就業・生活支援センターの運営（障害者雇用定着促進事業と一体的に実施）

①相談・支援の充実

- ア 就職に向けた相談支援、準備支援（職場実習または職業準備訓練の斡旋等）
支援登録者：1, 110人、相談件数：5, 966件、職場実習等：30件
職場定着支援：438件、新規就労者：52人

②在職者の交流活動事業の実施

- ア スッキリ会（精神障害・発達障害のある方対象）：6回開催、延べ71人参加
- イ WA I W A I 会（知的障害のある方）：4回開催、延べ74人参加

③就職活動支援セミナーの開催

- ア 2回開催、延べ19人参加

④ピアサポート活動の実施

- ア 1回開催、2人参加

⑤ネットワーク形成・セミナー等の開催

- ア 6回開催、延べ66人参加

⑥関係機関との連携

- ア 就労支援連絡会議の開催
- イ 特別支援学校生徒への支援（5校、職場実習企業巡回訪問、情報交換会等）
- ウ 関連会議への出席（金沢市障害者自立支援協議会、石川県発達障害者支援体制推進会議等
66回出席）
- エ 講師派遣（3回）

⑦職員の資質向上（研修会等への出席）

- ア 障害者就業・生活支援センター 主任就業支援担当者研修に参加
- イ 石川障害者職業センター 障害者の就労支援に関する基礎的研修に参加
- ウ 石川障害者職業センター 障害者の就労支援に関する基礎的研修フォローアップに参加
- エ ステップアップ研修に参加

(7) 金沢福祉用具情報プラザの管理運営（指定管理事業）

①会議の開催

- ア 運営委員会会議の開催（4月）
- イ 展示福祉用具選定部会会議の開催（11月）

②展示事業

- ア 最新の福祉用具と住宅改修モデルの展示（福祉用具1, 254点展示）

- イ 誰も見やすく、体験しやすい展示方法についての調査・研究
- ウ 最新福祉用具展示会（福祉用具コレクション2026）の開催（1月全23日 延べ80人）
- エ 認知症支援イベント（つながる認知症サポートデイ）の開催（全1回、23人）

③相談事業

- ア 福祉用具、住宅改修、介護、福祉制度に関する相談（1,405人、2,854件）
- イ 協力ボランティアと連携した衣服リフォームおよび自助具の作製に関する相談
- ウ 関係団体と連携した3Dプリンタを活用した自助具製作に関する相談
- エ 適切な選定のための展示福祉用具の無料試用貸出（1,132人、2,314点）
- オ 相談員としての質の向上を図るため、職員研修の実施および外部研修への参加
- カ 職員の資質向上（研修会等への出席）
 - 国際福祉機器展&フォーラム（HCR2025）への参加等（延べ4人）
 - 高齢者・障がい者の快適な生活を提案する総合福祉展（バリアフリー2026）への参加（1名）
 - CareTEX 東京'26への参加（1名）
 - 福祉住環境コーディネーター2級の取得（2名）
- キ 難病者が使うコミュニケーション機器の情報・発信に関わる専門職のネットワークづくり
- ク 関係機関と連携した医療的ケア児やその家族への相談、情報提供
- ケ 行政と連携した障害のある方への情報提供・コミュニケーション支援についての研究協議

④情報事業

- ア 金沢市社協情報、まちぐるみ福祉活動ガイドブック、すこやか長寿による情報発信
- イ ホームページやSNSを活用した情報発信

ホームページ	閲覧回数：17,398件
フェイスブック	投稿件数：34件、閲覧回数：10,877回
ユーチューブ	投稿件数：18件、視聴回数累計：76,852回 新規登録者数225人（総登録者数：944人）
インスタグラム	投稿件数：33件、視聴回数累計：6,461回
LINEオープンチャット	投稿件数：9件、新規登録者数28人（総登録者数：71人）
- ウ 福祉に関する図書の貸出
- エ 福祉用具開発のための無料試用貸出データの収集・発信（年2回）

⑤学習事業

- ア 福祉用具専門相談員指定講習会の開催（全8回、18人修了）
- イ 基礎から学べる福祉用具の選び方講座（全1回、延べ22人参加）
- ウ 腰痛予防対策研修会の開催（共催：丸文通商株）（全2回、延べ22人参加）
- エ スキルアップ研修会「ひとにやさしいケアと福祉用具の活用」の開催（全4回、延べ72人参加）
- オ リクエスト講座の開催（全4回開催、延べ55人参加）

⑥市民交流事業

- ア 百万石まつり協賛事業 プラザ祭り2025の開催（6月、4、256人参加）
- イ 市民を対象とした福祉教室や催事展示の開催（職員派遣4回）
- ウ 体験学習器具（高齢者疑似体験セットや車いす等）の貸出（49件、291点）

改 ⑦介護ロボット・ICT導入促進事業

- ア 介護テクノロジー機器や福祉用具の展示（39点）
- イ 介護テクノロジー展示会の開催（金沢福祉用具情報プラザでの開催）
 - 第1回 移乗支援編（全9日 延べ42人参加）
 - 第2回 見守り支援/介護業務支援編（全9日 延べ38人参加）
 - 第3回 排泄支援/入浴支援編（全9日 延べ52人参加）
- ウ 関係機関と連携した介護テクノロジーに関する相談、情報提供（相談155件、貸出件数79件、デモ依頼16件）

⑧介護保険住宅改修適正化事業

- ア 住宅改修の申請者宅への訪問、現地確認・アドバイス（0件）

⑨情報バリアフリー環境推進事業

- ア 障害のある方のスマホ・パソコン相談窓口の開催（全24回開催、延べ12人・実人数10人参加）
- イ 障害のある方を対象としたスマートフォン講座の開催
 - 視覚障害者対象（全2回、延べ12人参加）
 - 精神障害者対象（全2回、3人参加）
 - 聴覚障害者対象（全2回、延べ10人参加）
 - 知的障害者対象（全1回、延べ4人参加）
- ウ 情報アクセシビリティに関する職員の資質向上

⑩その他

- ア 令和6年能登半島地震に伴う被災者支援
 - 名称：あつまらんけNOTO 金沢
 - 協力：メンタルケア協会金沢事務所、石川県介護福祉士会、明治安田生命金沢支店、石川県生活再建支援課、金沢市（保健師）、個人ボランティア
 - 内容：集いの場の提供、健康チェック、個別相談会の開催（全88日、延べ来館者数3,048人、ボランティア参加者数216人）

(8) いきいきギャラリーの運営

①高齢者・障害のある方の手作り品の展示・販売

- ア 30施設・団体が出展、売り上げ：2,348,696円、2,940人来店

②市民教室の開催

ア 出会い・ふれあい教室 1回開催 11人参加

③研修室・交流室の貸出 4団体 270人

(9) 金沢メルシーキャブサービス (車いす使用者の送迎サービス)

①利用状況

ア 利用会員：64人、559回運行、総利用距離：4,158km (3台)

②運転協力会員 (ボランティア) の状況

ア 運転協力会員 (ボランティア) : 59人、延べ運転者数 : 519人

イ 新規運転協力会員講習 (随時) : 受講者2人

ウ カウンセリング付一般診断 (70歳以上対象) の実施 (随時) : 受講者0人

③広報

ア 金沢市社協情報、金沢市広報、ホームページ等で利用会員及び運転協力会員募集

3 地域住民及び福祉関係者等の多様な関係者との協働・連携による事業（地域福祉推進に関する調査研究、関係者の連絡調整、福祉人材の養成・確保・定着、福祉サービスの質の向上に向けた取組等）の展開

(1) 介護サービス事業者連絡会（部会再編による効率的な運営）

〔金沢市と連携して実施〕

①事業者相互の情報交換・課題協議

ア 総会（1回）、理事会（2回）

改 イ 部会会議等（11部会、19回）

②研修・研究協議

ア 研修（20回）、延べ572人参加

イ 全体研修会（6回）、305人参加

講義「高齢者虐待を防ぐには」

講義「介護テクノロジー導入・活用セミナー」

講義「ストレスケア～仕事に活かせるポジティブ心理学～」

講義「感染症対策と初動対応のポイント」

講義「認知症の方の心に寄り添うバリデーション」

講義「実効性あるBCP策定のために」

ウ ケアプラン研修（2回）、延べ53人参加

テーマ「介護支援専門員能力向上研修（5年以上）」

「介護支援専門員能力向上研修（5年未満）」

エ 部会別研修会等・11部会で19回の研修・研究協議を実施、延べ193人参加

新 オ サービス部門別情報交換会…3部門で研修・研究協議を実施、延べ77人参加

③連絡会運営体制等の見直しに向けた検討

④関係機関との連携

ア 金沢市医師会、金沢市歯科医師会、金沢市薬剤師会等の関係機関との連携強化

⑤情報の提供

ア 行政情報の提供（随時）

イ 介護支援専門員および各事業者等への事業者情報・福祉施策情報等の提供

⑥会員の状況 213法人、691事業所

(2) 介護職員人材定着促進事業／介護職員人材確保促進事業

①介護職員の相談・交流の場（ケアワーカー・カフェ）の設置

→クリスマスカップケーキ作り、ハンドマッサージ講座を実施（2回、延べ21人参加）

②ケア・メンター派遣事業

ア 派遣先事業所数・回数…3事業所（6人）、延べ30回

イ ケア・メンター意見交換会の開催（3回）

改 ③かなざわ介護ラボの開催

ア 実行委員会の開催（8回）

イ 「介護の魅力発信イベント」の実施（120人参加）

ウ フォトコンテストの実施

テーマ「介護の醍醐味が伝わる写真」、応募作品数43作品

④SNS（インスタグラム、フェイスブック）・チラシ・テレビやラジオ等による広報活動実施

（3）社会福祉事業従事者互助会の運営（民間社会福祉事業従事者の退職共済制度の運営）

①互助会制度の運営

ア 理事会（2回）開催

イ 代議員会（2回）開催 ※WEB会議

②会員…190事業所、2,338人の会員

③退職手当金の支給

令和7年度退会者213人、退職手当金273,276,400円支給

※保有率80.05%

④貸付制度…4件、7,800,000円貸付

（4）介護サービス相談員派遣事業

①介護サービス相談員の養成

養成人数 4人

②介護サービス相談員の派遣

介護サービス相談員47人、派遣回数694回、派遣対象事業所66カ所（特養、老健、療養型、認知症高齢者グループホーム等）

③介護サービス相談員連絡会（5回）

④研修

- ア 介護サービス相談員研修会（3回、延べ109人参加）
 テーマ「認知症の方に寄り添うコミュニケーション技法～笑顔で輝きを～」
 「介護現場の負担を減らすテクノロジー」
 「AI が読み解く相談員の視点～年間記録の分析から浮かび上がる現場の傾向と課題～」
- イ 介護相談員現任研修への参加（2人）

⑤調査・研究、広報

- ア 広報（受入事業所掲示用ポスターの作成）
- イ 受入状況等の確認アンケートの実施（2回）

(5) 専門部会（保育部会、老人福祉施設連絡会、地域デイサービス部会、障害児・者福祉施設連絡会）での調査研究、関係機関との連携強化

①保育部会

- ア 理事会（12回）
- イ 総会（2回）
- ウ 理事長・所長研修会（5回）
 テーマ「令和7年度改正 処遇改善等加算について」（91人参加）
 「保育現場における災害対策～能登半島地震の教訓を踏まえて～」（79人参加）
 「モテ保育所(園)、モテこども園になるために」（53人参加）
 「幼児教育と小学校教育がつながるってどういうこと？」（68人参加）
 「委員会報告」・「行政説明」（104人参加）
- エ 専門委員会による調査、研究
 第1委員会（環境改善）…2回
 第2委員会（人材確保）…4回
 第3委員会（保育保健）…4回
 第4委員会（広報）…6回
- オ 金沢市保育医療連絡協議会等と連携しての調査・研究、研修
- カ こどもすくすくウィーク（ホームページに特設サイトを開設し、各保育所及び認定こども園の特色や活動等について情報発信、未就園児と保護者の施設見学を受け入れ）
- キ 金沢の保育の魅力発信事業
 金沢市の保育の魅力を広く市民に発信するため、以下の活動に取り組んだ。
 ・こどもすくすくウィーク
 0歳から就学前児童を持つ親子を対象に、保育所及び認定こども園の特色について広報するとともに、施設見学受入れを行った。
 広報期間等 8月10日～9月19日
 保育部会ホームページ、金沢市公式ライン、チラシ等周知
 施設見学受入れ期間等 9月1日～12日 110ヶ所・園で受入れ
- 新 ・金沢の保育の魅力発信リーフレット

金沢市内の小・中学生を対象に、金沢で保育の仕事をすることの魅力を発信するリーフレットを12,060部発行し、配布した。

②金沢市障害児・者福祉施設連絡会

- ア 監事会（1回）、幹事会（2回）、連絡会議（2回）
- イ 職員研修会（1回） ※老人福祉施設連絡会と合同開催
「元ディズニーキャストが教える接客研修
～サービスの本質とホスピタリティ～」（13人）
- 改 ウ 情報交換会（1回） ※老人福祉施設連絡会と合同開催
「地域との連携について」等（13人）
- エ 行政（金沢市）との意見交換会（1回）
- オ 「プラザ祭り2025」、「福祉のつどい2025金沢」、「ふれあいコンサート」に参加協力

③老人福祉施設連絡会

- ア 理事会（1回）、総会（1回）
- イ 施設長等研修会（金沢ニューグランドホテル）
事例発表「離職防止の取組について」（3月、29人）
- 改 ウ 介護職員等研修会（金沢市松ヶ枝福祉館）
講義「元ディズニーキャストが教える接客研修
～サービスの本質とホスピタリティ～」（2月、14人）
グループ討議「地域との連携について」等
※金沢市障害児・者福祉施設連絡会と合同開催
- エ 施設職員の自主研修費の助成（20施設に助成）
- オ 研修企画検討会（2回）
- カ 介護職員人材定着・確保に関する研究会（3回）
- キ 施設間交流促進事業（4施設、2回）
- ク 地域貢献活動（金沢版子ども宅食推進事業の協力）
フードドライブによる食材提供（延べ8施設、12回）
- ケ SNSを活用した広報活動「カイゴの日常～ケアワーカーリレー」（24施設、24回）
- コ 介護職員人材定着・確保促進事業への協力
・ケア・メンター派遣事業の受入（3施設）
・かなざわ介護ラボの協力（実行委員2人）

④地域デイサービス部会

- ア 部会会議（4回）
- イ 実務担当者会議（1回）
- ウ デイサービス事業の実態調査（2回・経営状況、総合事業の取り組み等）
- エ 職員研修会（2回）

- ・「いざという時に備えて～心肺蘇生とAEDの使い方～」 (11人)
 - ・「法令遵守とコンプライアンスの基本」 (10人)
 - オ レクリエーション企画 (1回)
 - 「ハンドマッサージ講座」 (13人)
 - カ 合同作品展 (10日間)
 - キ SNSを活用した施設紹介 (6回)
- ※令和8年3月31日解散

4 地域住民の福祉活動へのさらなる参加の促進

(1) ボランティアセンターの運営

①相談と調整

- ア ボランティア登録者：16,606人
(個人5,159人、グループ11,447人・302グループ)
- イ ボランティアに関する相談：89件

②活動支援

- ア 福祉ボランティア活動育成事業：61グループに3,009,000円助成
- イ ボランティア活動保険受付：13,724人、保険料助成：1,898,200円
- ウ ボランティア活動保険受付（令和7年能登半島地震災害特例）：2,747人
- エ ボランティア活動保険受付（令和7年金沢大雨災害特例）：135人
- オ ボランティア行事用保険受付：116,687人（803件の行事）
- カ 保険料助成：403,660円
- キ 使用済み切手の収集：20件収集

③ボランティア意識の醸成

- ア ボランティア講座（4回開催、60人参加）
テーマ「心理学を学んでコミュニケーション上手になろう！」
「超入門編！はじめてのチャットGPT」
「安心して発信しよう！失敗から学ぶSNS活用術」
「学生を巻き込んだボランティアの組織作り」
- イ ボランティア講座等への職員派遣（4回）
- ウ 石川県社会福祉協議会・ボランティアセンターとの連携
・ジュニアボランティア体験事業・11地区で実施
・児童・生徒のボランティア活動普及事業・指定小学校1校

④いきいきシニア介護支援ボランティアポイント事業

- ※高齢者がボランティア活動を通じて生きがいづくりや健康づくりの促進を図る事業
高齢者がボランティア登録、新規活動者は研修受講、高齢者福祉施設での活動に応じてポイントを付与しクーポン券交付
- ア 登録ボランティア：34人（平均年齢76.5歳）／受入施設：60施設
- イ 総活動回数：456回
(活動者一人あたり約2回/月、1回あたり約2時間00分活動)
- ウ クーポン券申請者：5人、クーポン券発行数：5冊
- エ 受入施設担当者研修会（1回開催、13人参加）
- オ ボランティアと施設職員との情報交換会（1回開催、13人参加）
※登録ボランティア講習会は希望者がいないため中止

⑤地域福祉ボランティア推進事業

ア 地区社協が指定する地域福祉活動に協力する市民がボランティア登録し、その活動に応じてポイントを付与しクーポン券交付

- ・登録ボランティア：32人（平均年齢72.3歳）／受入地区社協：48地区
- ・クーポン券発行者：2人、クーポン券発行数：35冊

⑥ネットワークづくり

ア 金沢市福祉ボランティア連絡協議会

正副会長会議（3回）、理事会（2回）、研修会（3回）

⑦かなざわボランティア情報の発行（5回）

⑧ホームページによる情報発信 19回

⑨LINEによる情報発信 32回（LINE登録者713人）

⑩企業への社会貢献 ※相談実績を含む

（2）金沢市社会福祉大会、福祉のつどい、ふれあいコンサートの開催

①第71回金沢市社会福祉大会（9月7日、金沢市文化ホールで開催）

ア 社会福祉事業関係者表彰、標語入選者表彰、記念行事、被表彰者記念撮影

②福祉のつどい金沢2025・ふれあいコンサートの開催

（10月5日、金沢市松ヶ枝福祉館・松ヶ枝緑地で開催）

模擬店、ゲーム、福祉ショップ、活動紹介・体験、コンサート等63団体が参加

計1,107人参加（来場者624人、参加団体368人、ボランティア48人、関係者・事務局67人）

（3）ホームページ、情報誌等による情報発信機能の強化

①市民への情報発信の充実

ア 「金沢市社協情報」の発行（17,000部×5回）

イ ホームページによる情報発信 19回

（4）松ヶ枝福祉館の管理運営

①自主的活動の支援

ア 利用登録団体（市内のボランティアグループ、福祉・保健・医療等関係機関・団体）

364団体

イ 研修室等利用状況

利用者数：48,915人、研修室等利用：2,052回

②管理運営

ア 利用者満足度アンケートの実施（42人回答）

職員対応、館内表示、施設清掃、設備（バリアフリー等）、器具備品の充実、専門職員 充実度のそれぞれの項目において「とても満足」「やや満足」が6割以上

③相談窓口の設置

福祉保健総合相談事業（裁判所職員OB会等と連携した相談活動）

ア 福祉なんでも相談：33,593件

イ 民事・家事に関する法律相談：10件

④ICT化の推進

無線LAN環境を活用し、地域福祉活動やボランティア活動を推進

(5) 金沢福祉用具情報プラザの管理運営（指定管理事業）

①自主的活動の推進

ア 利用登録団体（市内のボランティアグループ、福祉・保健・医療等関係機関・団体）
97団体

来館者等利用者数：31,470人、貸館等利用：261件、2,954人

視察・見学受入：65件、694人

イ 利用者満足度アンケートの実施（608人回答）

職員対応、館内表示、施設清掃、設備（バリアフリー等）、開館時間、展示品充実度、専門職員充実度のそれぞれの項目において「とても満足」「やや満足」が8割以上

5 多発する自然災害に備え、被災された人びとに寄り添い、支援していくため、平時からの災害福祉支援体制の整備

(1) 金沢災害ボランティアセンターの体制整備

①支援体制の整備

- ア 金沢災害ボランティアセンター運営関係団体との連携
 - ・金沢災害ボランティアネットワーク会議の開催（1回）
- イ 災害ボランティアセンターに関する周知・設置運営に関する研修等
 - ・金沢災害ボランティアセンター設置・運営訓練の実施（1回）
 - ・災害ボランティアコーディネーター登録者（28人）

②金沢災害ボランティアセンター開設（令和7年8月6日からの低気圧と前線による大雨災害）

- ア 災害発生日 令和7年8月7日（木）
- イ 設置期間 令和7年8月8日（金）～8月31日（日）
 （内ボランティア派遣期間は8月9日（土）～14日（木）、16日（土）、23日（土）、31日（日））
- ウ 設置場所
 - ・金沢災害ボランティアセンター本部
金沢市松ヶ枝福祉館（金沢市高岡町7番25号）
 - ・金沢災害ボランティアセンター現地支部
大浦小学校（金沢市大浦町ヌ87）
- エ 運営スタッフ 延べ111名（令和7年8月7日～8月31日）
- オ 運営スタッフの内訳

団体名	スタッフ数
石川県・石川県社会福祉協議会	17名
石川県災害ボランティア協会	12名
金沢市・金沢市社会福祉協議会	82名

- カ ボランティア活動者数 延べ169名
- キ 災害ボランティアセンターに寄せられたニーズ
 - ・件数 100件（完了98件、キャンセル1件、対象以外1件）
- ク 内容 災害ゴミ運搬68件、床下乾燥・消毒26件、土砂撤去・側溝泥出し6件

③みなし仮設住宅等の孤立防止、見守り活動（地域支え合いセンター金沢の設置・運営）

- ア みなし仮設住宅への訪問 4,358件（うち対面2,937件） 電話 3,055件
- イ 関係機関へつないだ件数 211件 来所面談件数 3件
- ウ ケース会議の開催 支援区分判定会議 337回 ケース会議 40回

④令和6年能登半島地震・奥能登豪雨災害による被災者同士の交流の場の開催

- ア あつまらんけNOTO金沢（金沢福祉用具情報プラザ） 88回開催（再掲）
- イ あつまらんけNOTO地域版 9回開催
- ウ あつまらんけNOTO支え合いの花プロジェクト（金沢エムザ） 17回開催

6 中期経営計画に基づく取組の着実な推進

(1) 法人の組織体制の強化

①経営会議（会長、業務執行理事、事務局長）の開催（適宜）

組織運営、中期経営計画の進行管理等を行った。

(2) 事務局組織体制の強化

①人材確保・育成等に関する方針の策定

拡 ア 新採職員の確保と離職防止のため、新採職員研修プログラムを作成、実施した。

イ 新採職員サポーターを配置した。

②課長会議（会長、業務執行理事、事務局長、各課・センター長）の定期開催（14回）

・円滑な組織運営を図るための情報共有、課題対応プロジェクトチーム（PT）による調査、研究、計画立案の内容協議等を行った。

③中期経営計画で挙げられた課題に対応するためのプロジェクトチーム（PT）設置

以下の4つのPTを設置し、調査研究を行った。

ア 研修企画PT：新採職員研修プログラムを作成した。

イ 業務改善PT：予定管理・出退勤システム等を導入した。

ウ 職場環境改善PT：職員が相談者の話を聞き易くなるような環境整備を試行した。

エ 相談支援部門・地域福祉推進部門間連携PT

相談支援部門と地域福祉推進部門との連携の在り方について研究、協議した。（継続中）

オ 災害福祉支援事業を統括する災害福祉支援担当を配置した。

(3) 財務管理・業務改善・リスク管理・コンプライアンスに関する体制の充実

①財務・法人組織運営に関する情報公開

ア ホームページで公開した。

②業務効率化、DX化等に関する調査研究

ア 予定管理システムを導入した。

(4) 行政とのパートナーシップの充実

①金沢市との定期的な連絡会議の開催

（会長、業務執行理事、事務局長、各課・センター長出席）

金沢市福祉健康局とこども未来局、金沢市社協、それぞれの組織（事務分掌）と予算、重点事業について情報共有を図った。

日 時：令和7年10月7日 16時から

場 所：金沢福祉用具情報プラザ

参加者：金沢市福祉健康局長及び福祉健康局内の関連課長、こども未来局長及びこども未来局内の関連課長、金沢市社協会長、業務執行理事、事務局長、各課・センター長

(5) 重点事業実施体制の充実

①相談支援部門・地域福祉推進部門間連携PTにおいて、以下の点について継続協議中（再掲）

- ア 組織内の相談支援部門と地域福祉推進部門の連携による地域福祉推進上の課題の共有・協議・提案・解決を図る仕組みの整備
- イ 組織内の相談支援尾総合化と住民主体の福祉活動支援体制の強化
- ウ 相談支援業務のマネジメント体制の整備
- エ 専門機関・専門職団体等との連携・協働体制の強化

(6) 会務の運営

①法人の運営

ア 理事会（8回）

- ・ 4月1日（理事13人、監事3人同意）※書面審議
常勤役員の報酬額について
- ・ 6月12日（理事12人、監事2人出席）
令和6年度事業報告・収支決算報告、任期満了に伴う役員候補者の選定、任期満了に伴う時期評議員候補者の推薦、任期満了に伴う評議員選任・解任委員の選任、評議員選任・解任委員会の招集、定時評議員会の招集
- ・ 6月27日（理事13人、監事2人出席）
会長・副会長・専務理事・常務理事の選定、苦情解決責任者・苦情受付担当者、第三者委員の選任
- ・ 9月25日（理事14人、監事3人同意）※書面審議
育児・介護休業等に関する規程の一部改正
- ・ 12月25日（理事14人、監事3人同意）※書面審議
常勤役員の報酬額の改定について
- ・ 1月21日（理事14人、監事3人出席）
令和7年度収支補正予算（案）、評議員会の招集
- ・ 3月19日（理事12人、監事3人出席）
令和7年度収支補正予算（案）、令和8年度事業計画（案）、令和8年度収支予算（案）、諸規程の一部改正、役員等賠償責任保険契約、評議員会の招集
- ・ 3月24日（理事14人、監事2人同意）※書面審議
常勤役員の報酬額の改定

イ 評議員会（3回）

- ・ 6月27日（評議員13人出席）
令和6年度事業報告、令和6年度収支決算、任期満了に伴う次期役員の選任
- ・ 2月2日（評議員14人出席）

令和7年度収支補正予算（案）

- ・ 3月30日（評議員15人出席）
令和7年度収支補正予算（案）、令和8年度事業計画（案）、
令和8年度収支予算（案）

ウ 監事会（1回）

- ・ 6月9日（監事3人出席）
令和6年度事業報告、令和6年度収支決算

エ 評議員選任・解任委員会（1回）

- ・ 6月17日（評議員選任・解任委員委員会3人出席）
評議員の選任について

②税理士等による助言・指導

ア 法人運営の透明性を高めるための税理士等による助言・指導を仰いだ。

（7）職員の資質向上・やりがいのある職場づくり

①職員研修（52回、延べ127人が受講）